

～とよたネイチャーゲームの会の工夫～

ネイチャーゲームファンを増やそう！

とよたネイチャーゲームの会 浅岡 厚志（愛知県）

0. はじめに

どうやったら、たくさんの人たちにネイチャーゲームを知ってもらえるかな？

参加者は最高 250 名、最低 0 名。

いろんな視点からどうしたらよいか、毎月試行錯誤しています。

試行錯誤をくりかえし、開催も 60 回をこえました。

そこで、一度いままでにやってきた我々の工夫をまとめてみました。

1. お財布にやさしいネイチャーゲーム

やはり、まずは参加費！

楽しくてもお金が高いと参加してくれませんよね。

「家族 4 人で参加して 1,000 円までだよね。」

「親子 2 人で参加して 1 コイン（500 円）」

参加者の立場になって考え、

大人（大学生以上）：300 円

小人（高校生まで）：200 円

小人は 3 歳（幼稚園、保育園に行く歳、集団行動ができる歳）からと考えました。

ピザをやったり、材料費がかかるときでも最高 500 円までとしています。

2. 気軽に参加：予約不要

参加者が気軽に参加できるように、基本的に予約不要としました。

雨が降ったり、寒かったり、子どもが熱を出したり、寝坊したり、

今日は天気がいいから参加してみようかな？

そんなときでも連絡はいりません。

ピザなど生ものを取り扱うときに限り予約制としています。

[裏では]

通常 40 名くらいの参加者ですので、

参加想定人数を 40 名、最大 60 名を考えてプログラムを作成している。

3. 参加したくなるキャッチフレーズ

参加したくなるキャッチフレーズを考える。

“ネイチャーゲームと焼きイモ” “ネイチャーゲームで焼きイモほかほか”
寒い冬にどちらが外に出たいと思いますか？
あなたなら、どちらに参加しますか？

‘01年、“全国一斉大会”とだけ書いたところ、参加者が3名でした。
反省を踏まえ翌年からキャッチフレーズの追加し多くの参加者を集めている。

4. 楽しいプログラムを考えよう

①季節を取り込む。

夏は木陰の多い場所をつかったり、川でガサガサ（魚つかみ）
冬は火を使う焼きイモや飾り炭など

②プラスアルファ

ネイチャーゲームだけでなく、クラフトや自然観察、もちつきなど
普段できないようなことを織り込む
また、楽しいだけのプログラムでなく自然環境についての理解を深めるようにしている。

5. スタッフも楽しく

①スタッフも楽しめるプログラム

自分の得意なことを他のスタッフにも楽しんでもらう。

- ・野鳥観察
- ・自然観察
- ・お料理

②スタッフの負担軽減

②-1. ディレクター制度

毎月開催するためプログラム作成者（ディレクターと呼ぶ）を決め、
プログラム案を考えてきてもらいみんなでより良いものに仕上げる。
自分が全て一からつくらなくても、
みんなでフローリングを考えながら意見を出し合うことで、
プログラム作成の実力がついていく。

②-2. 予約不要

予約を受けたり人数を確認したり、スタッフの家族にも負担がかかりますので、
材料を用意するとき以外は予約を不要にしています。

‘05年プログラム

1月	雪・氷・霜・霜柱	2月	落ち葉でポカポカ（焼きイモ）
3月	光の春	4月	芽でる春
5月	夜の森	6月	雨の森を歩こう
7月	川でガサガサ		
9月	赤とんぼ	10月	なりきり野武士
11月	ピザをつくろう	12月	正月かざり

6. 宣伝しよう！

①市の広報：単に参加の募集だけでなく、ネイチャーゲームの宣伝にも役立つ

②ホームページ：有効な宣伝媒体です。

クルマで1時間くらいかけて参加していただける方もちらほらいらっしゃいます。

③チラシ：3ヶ月先までかいたチラシを参加者に配布

環境に関係ありそうな施設においてもらう。

<つなぐ>

場と場をつなぐ

小学校の総合学習の講師として招かれた時にチラシを持って行って宣伝

人と人とをつなぐ

開催場所に来た子どもたちに“今度の日曜日に楽しいネイチャーゲームやるよ”

くちこみが一番効果のある宣伝です。



ネイチャーゲーム

地球と遊ぼう！自然と話そう！
さまざまな感覚の扉を開くネイチャーゲーム。

3月12日（日）「春を味わおう！」
場 所 トヨタの森（フォレストヒルズ内）
時 間 午前9:00～12:00（P.8駐車場に午前9時集合）
持 ち 物 ハンカチ、虫めがね、煎物、水筒
参 加 料 子ども200円、大人300円（保険料を含む）
申 込 み 事前の申込みは不要です

7. 地域の人たちと共に

地域の中にそれぞれの分野に詳しい人がいるはずです。

いろいろな人からお話を聞いて楽しいプログラムができると思います。

- ・ 野鳥の会の方
- ・ 近所のおばあちゃん
- ・ 味噌蔵の社長
- ・ バードカービング講師
- ・ 公民館のイベントと共催

8. これからも、

これからもさらに参加者が増える開催を目指していつまでも続けていきます。

- ・ チラシをもっと子ども向きに
漢字が多く低学年には読めないので、
ふりがなをつける、またはかひらがなにする。
- ・ ちらしを公民館においてもらう
- ・ 年間テーマの作成
プログラム作成時の指針を決める。
たとえば、
 - 文化
 - 歴史
 - 味覚を感じてメンバーみんなで考えると楽しいと思います。